

AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア 12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究員による解説とともにお知らせいたします。（2021年第2四半期）

グラフの読み方

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質 GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDPには名目値と実質値があり、そのうち実質 GDP の伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDP デフレータ 名目 GDP を実質 GDP で除した値として計算される。その伸び率は、名目 GDP の価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDP デフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の間を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2はM1に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したもの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 本国通貨と米ドルとの交換レート（ドル／本国通貨）。指数の上昇は本国通貨高、下落は本国通貨安を示す。本国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4 / TEL：093-583-6202 / URL：<http://www.agi.or.jp>

日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

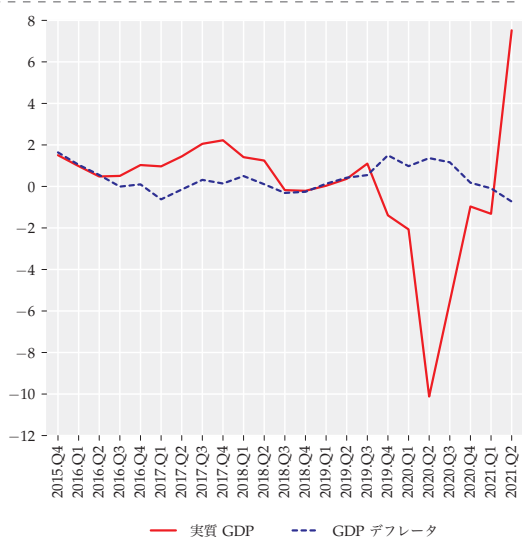


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

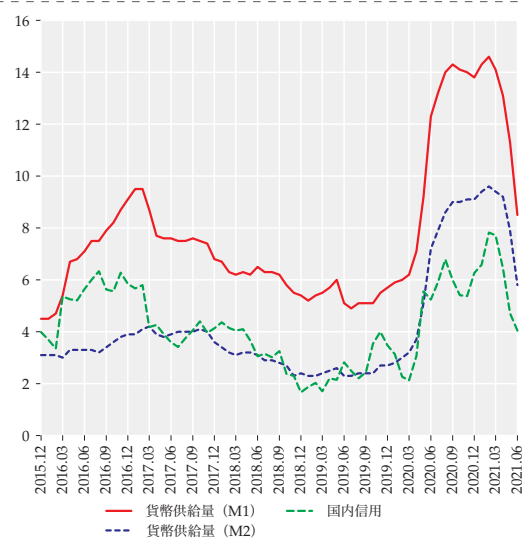
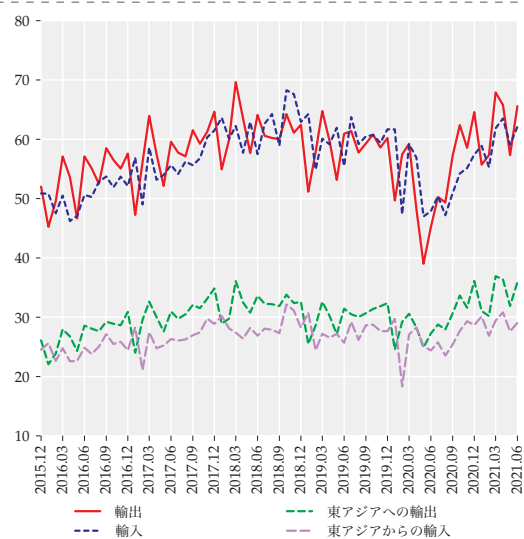


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



日本経済の動向 (2021年第2四半期)

2021年第2四半期の実質 GDP の伸び率は 7.52 % となり (前年同期比, 速報値), 前期の -1.32 % から大きく改善した。ただしこれは 2020 年第 2 四半期の大きな下落 (-10.12 %) の反動であり, 2019 年第 2 四半期と比べると 3.36 % の下落である。新型コロナウイルス感染拡大の影響により消費や設備投資が低迷している。第 2 四半期の民間最終消費支出は 7.21 %, 民間企業設備も 2.54 % と, その伸びはいずれも前年同期の下落幅 (それぞれ -11.17 % と -8.39 %) を下回っている。一方, 財貨・サービスの輸出は 26.30 %, 輸入が 5.22 % となり, これは前年同期の -21.69 %, -4.95 % という落ち込みを打ち消し, 以前の水準に回復した。4 回目となる緊急事態宣言のなか, 東京オリンピック・パラリンピックが開催された。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は進んでおり, 政府は 10 月までに国民の 8 割に接種する見通しを示したが, デルタ株の感染力は強く, 以前のような日常生活・経済活動を取り戻せるかどうかは不明である。 (田村一軌)

中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

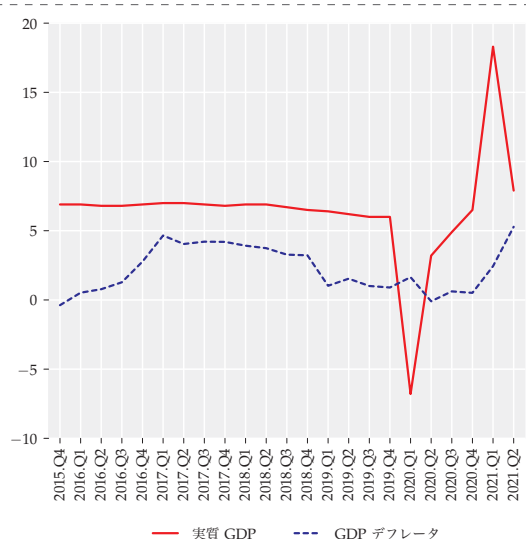


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

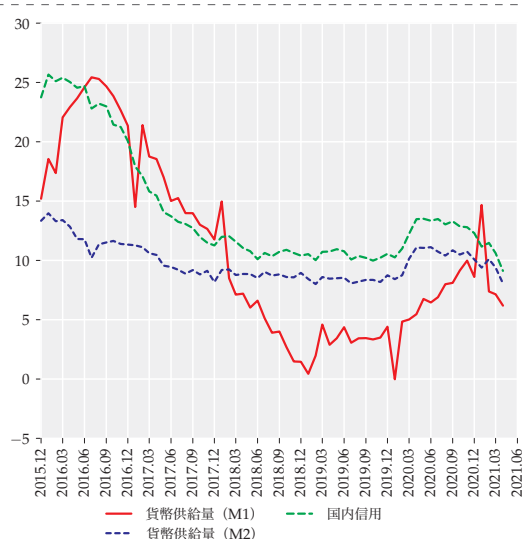


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

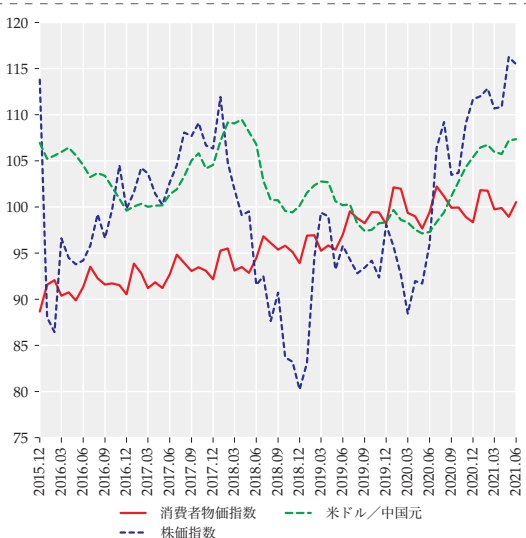
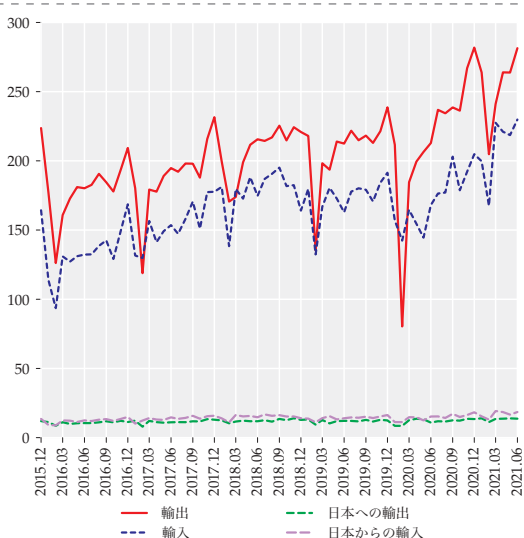


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



中国経済の動向 (2021年第2四半期)

国家統計局の発表によると、第2四半期の実質 GDP 成長率は7.9%となった。産業別の成長率をみると、第一次産業は7.6%、第二次産業は7.5%、第三次産業は8.3%になっている。特に、輸送業、ホテル・飲食業、情報通信業の成長率は、第三次産業平均値の2倍前後になっている。第2四半期の実質 GDP 成長率に対する支出面の構成別貢献率をみると、国内最終消費は77.1%、資本形成は13.2%、純輸出は9.7%になっている。米中対立が続くなか、対外輸出が以前のように拡大し続けることは難しくなるが、コロナの国内収束による内需の強い回復は、中国の堅調な経済成長を支えている。近年、一部産業における寡占・独占が進んでいることもあって、国内の階層間貧富格差が顕在化している。国民の求心力を高めるために、中国政府は、経済成長を引き続き重視するが、「共同富裕」（共に豊かになる）という政策目標を大きく強調し、大手 IT 企業や学習塾産業などに対する厳しい規制を打ち出しており、内外の資本市場に大きなショックを与えている。(戴 二彪)

香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

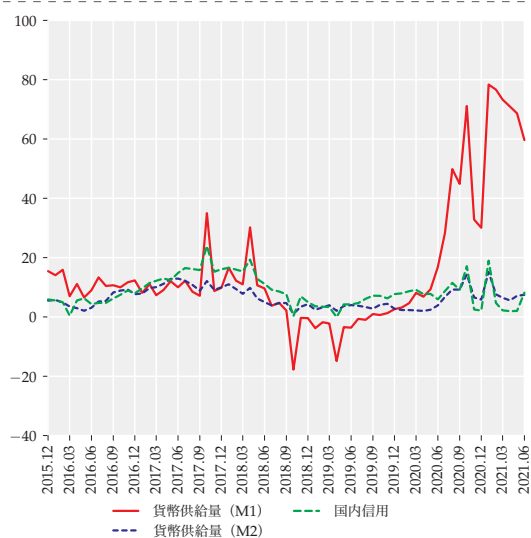


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

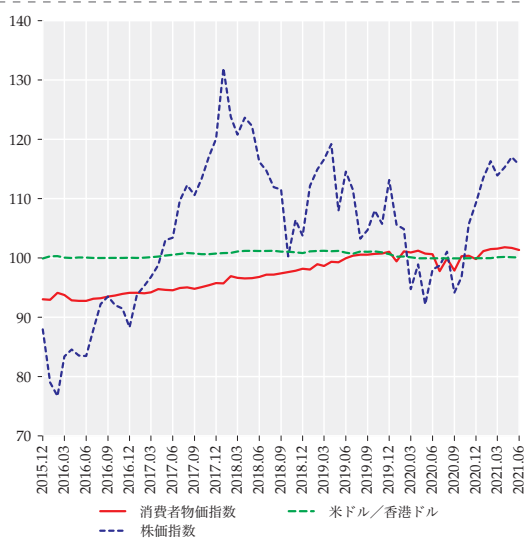


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



香港経済の動向 (2021年第2四半期)

香港政府の発表によると、2021年第2四半期の対前年同期比実質 GDP 成長率は7.6%となった。前期の8.0%増に続き、香港経済は堅調に回復している。中国および米国・欧州など世界主要市場の強い経済回復につれて、第2四半期の商品総輸出は対前年同期比20.2%増となり、前期の伸び率(30.1%)を下回るものの、輸出額は前期よりも拡大した。一方、サービス輸出については、貨物輸送が強く回復しているが、インバウンド観光関連産業が依然停止に近い状態に陥っており、第2四半期のサービス輸出全体は、対前年同期比2.6%増にとどまった。注目すべきは、香港の地場需要が顕著に拡大していることである。第2四半期の民間消費の伸び率は、前期の2.1%から6.8%へ上昇した。また、固定資産投資の伸び率も前期の4.8%から23.8%へと大きく拡大した。新型コロナウイルスの国際流行や米中対立など深刻な問題が残っているものの、香港政府は、2021年通年の経済成長率予測値を3.5~5.5%から5.5~6.5%へと上方修正した。(戴 二彪)

韓国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

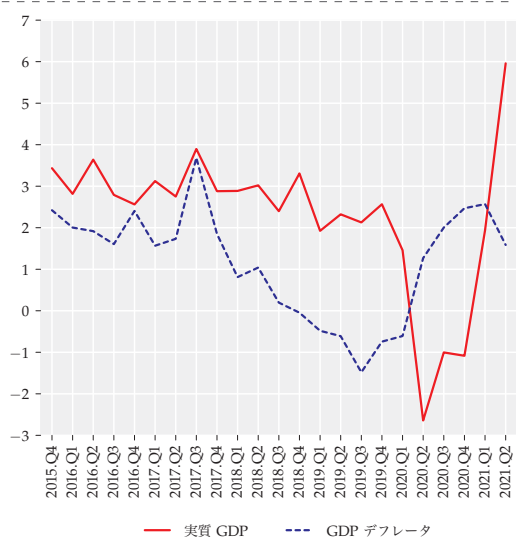


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

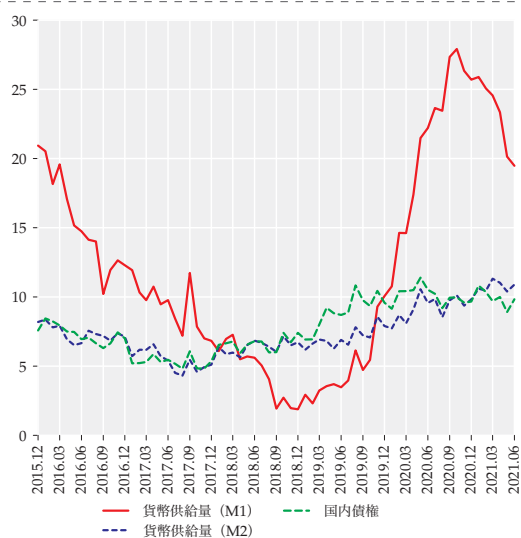


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

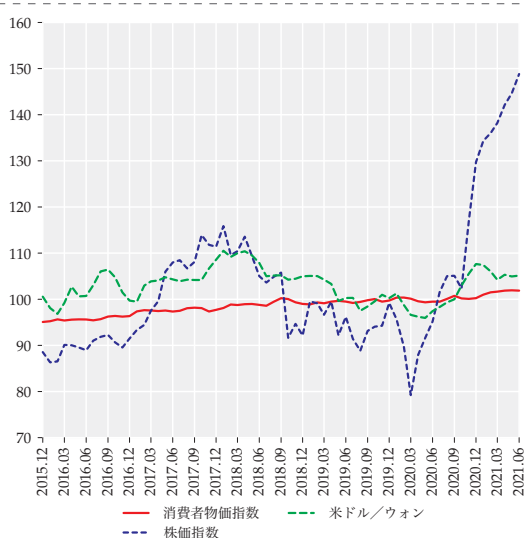
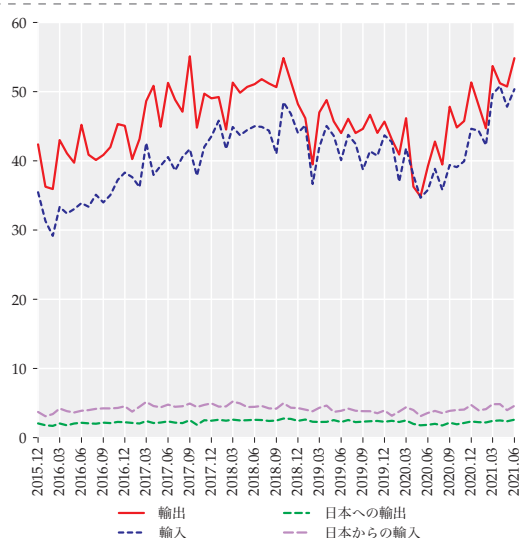


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



韓国経済の動向 (2021年第2四半期)

韓国の2021年第2四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は5.96%となり, 前期の1.94%から大幅なプラス成長となった。6月末の株価指数は3,296.68, 1米ドル=1121.30ウォンであった。株価は1年以上の上昇が続き, ウォンは昨年末からウォン安傾向となっている(3月末の同指標は3,061.42, 1,131.02ウォン)。中国経済をはじめとする世界経済の回復基調から, 輸出が42.10%と前期の12.48%から大幅に上昇した。また, 輸入も37.45%と前期の12.15%から大幅に上昇した。しかしながら, 6月半ば以降から, 変異株の流入による感染が再拡大するようになり, 首都ソウル周辺の行動制限が長期化している。一方で, 経済政策として, 政策金利を段階的に過去最低の0.50%まで引き下げてきたものの, 家計債務の拡大による金融不均衡の影響が大きく, 8月26日には, 政策金利を0.75%に引き上げた。今後の経済の先行きが懸念される。

(坂本 博)

台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

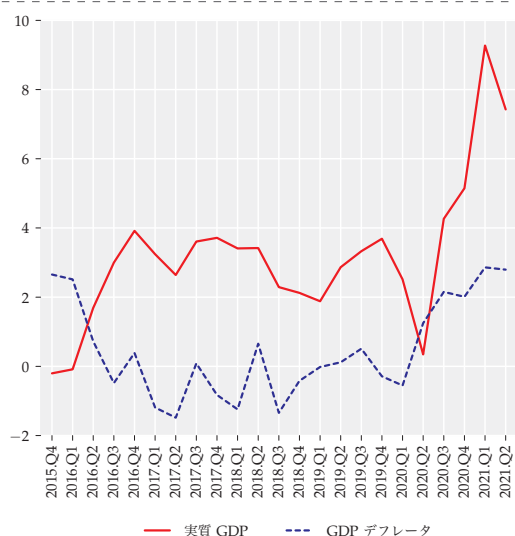


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

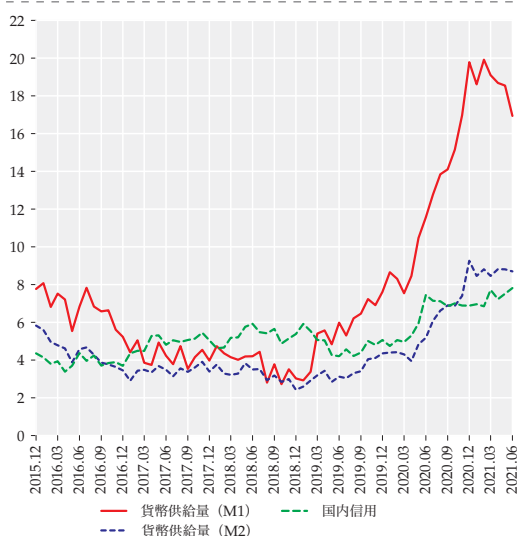


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

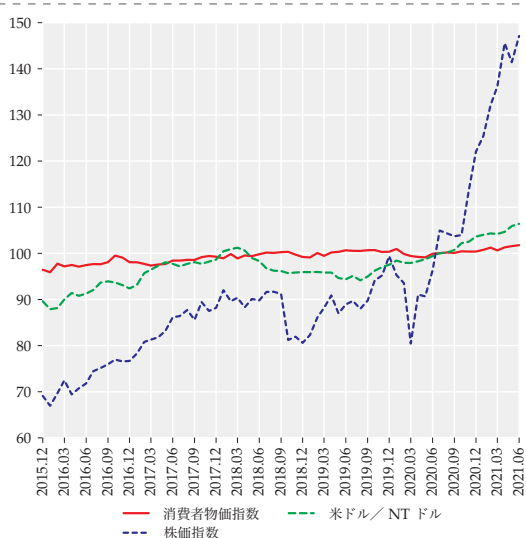
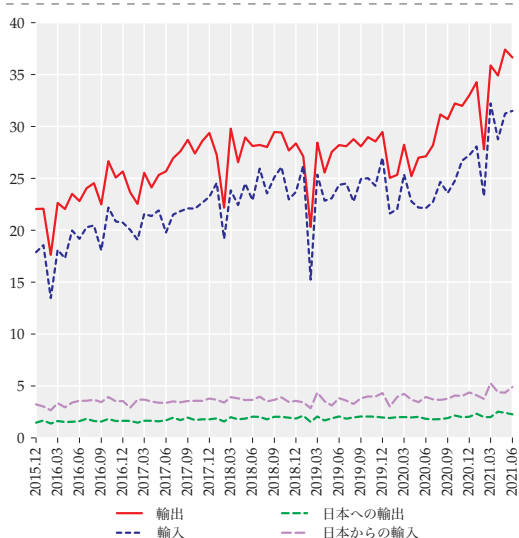


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



台湾経済の動向 (2021年第2四半期)

台湾の経済成長率は、2021年第3四半期の以降、各々、4.26%、5.15%、9.27%、7.43%であり、2021年上半期の成長率は8.34%と高い伸び率を示している。2021年通年の成長率は5.88%、1人当たりGDPは3万2,747米ドルになると予測されている(主計総處2021年8月13日付資料)。国際貿易では、2021年1~7月期の輸出額は2,449億米ドル、輸入額は2,071億米ドルで、対前年同期比の伸び率は、各々、31.5%と30.4%であった。主要輸出相手国・地域別にみると、中国・香港31.2%、ASEAN36.0%、米国28.2%、欧州34.1%、日本19.3%と全体的に高い数値を示している。最大の輸出品目である電子部品の伸び率は30.4%(うちICは30.3%)で、半導体の世界的不足に伴う強い需要は、台湾の輸出と成長率を押し上げている。他方、半導体供給の台湾への過度の依存に伴うリスクは、日本を含め先進各国の自国への半導体企業誘致の積極化に繋がっている。

(岸本千佳司)

インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

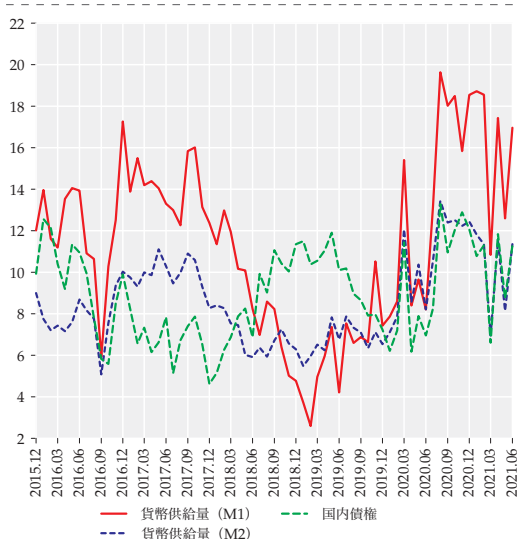


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

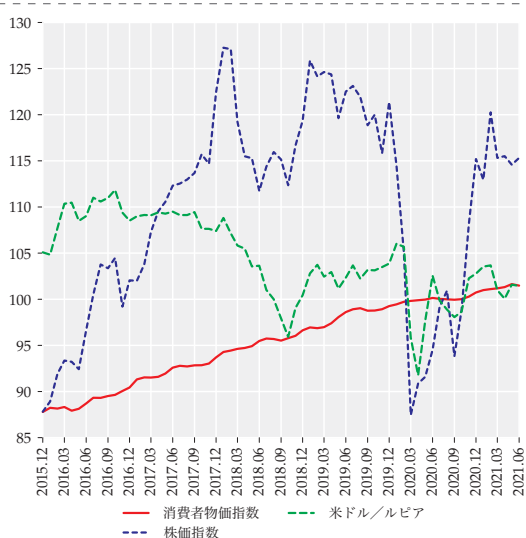
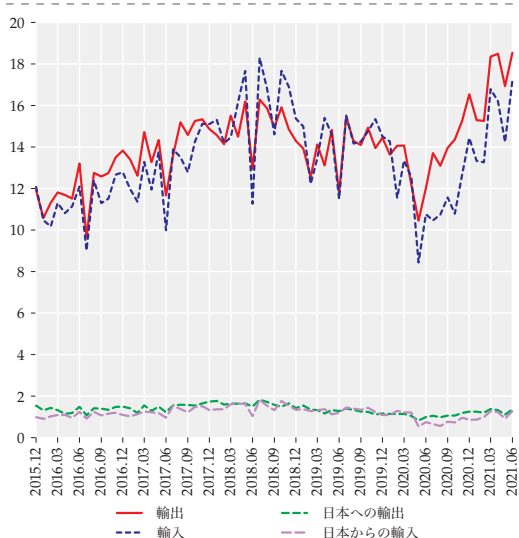


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インドネシア経済の動向 (2021年第2四半期)

インドネシアの2021年第2四半期における実質 GDP の伸び率は (前年同期比, 以下同じ), 7.07% となり, 前期の -0.71% から急激に回復した。引き続き外需の回復が顕著で, 輸出は前期の 17.1% から 55.9%, 輸入は前期の 10.8% から 50.2% となっている。昨年末には 1 米ドル=約 14,200 ルピアであった為替は, その後も 14,000 ルピア台を推移している。一方, 昨年末には 5,979.07 ポイントと急上昇した株価も, 若干変動しながら同水準で推移している。また, 金融緩和により, 金融指標がいずれも 10% を超えるようになり, 2021 年 2 月 18 日には政策金利を 3.75% から 3.50% に引き下げた。それ以降, 政策金利は変更していないものの, 金融指標の伸びはやや鈍化している。新型コロナウイルスの新規感染者は, 1 月をピークに頭打ちとなっていたが, 6 月半ばから急拡大し, 行動制限の再強化に追い込まれた。目下, 感染者の拡大も収まっているが, ワクチンの接種が進んでおらず, 経済の本格的な回復には時間がかかる模様だ。(坂本 博)

マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

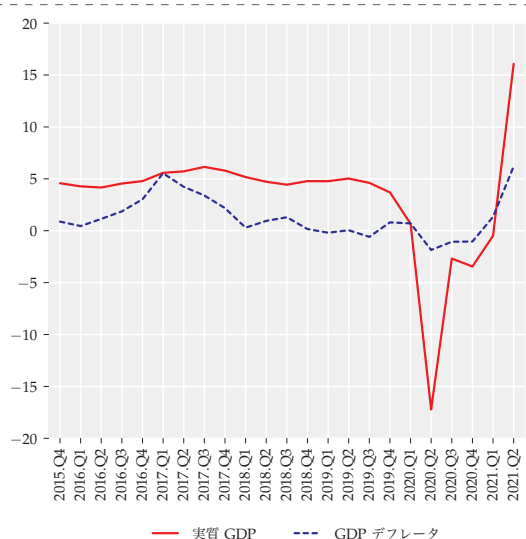


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

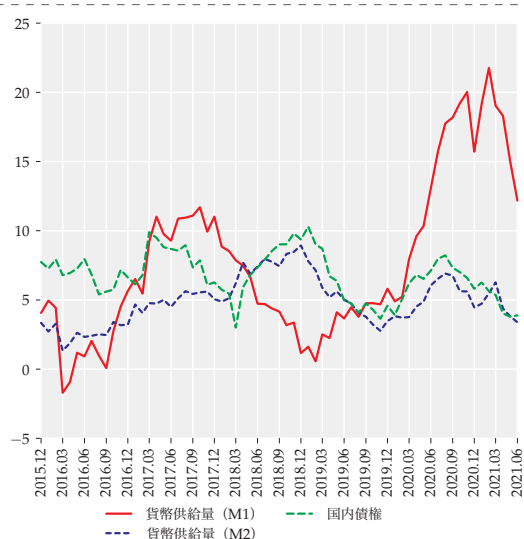


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

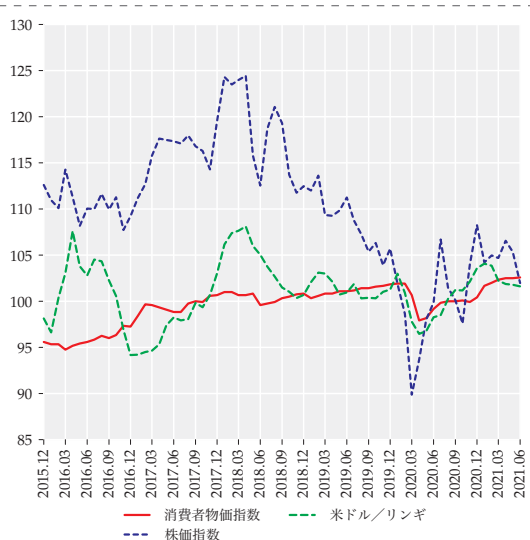
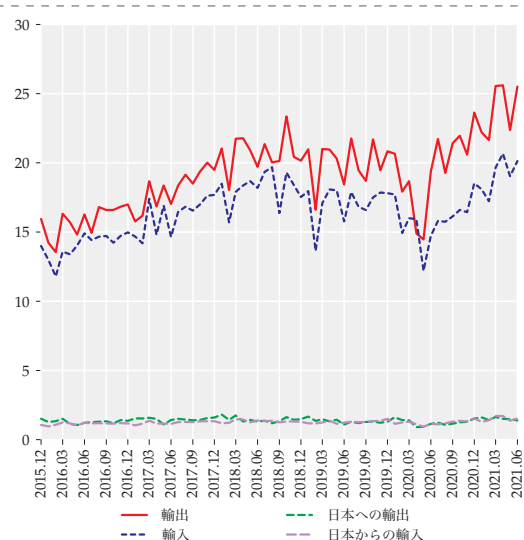


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



マレーシア経済の動向 (2021年第2四半期)

マレーシアの2021年第2四半期の実質GDPの伸び率は(前年同期比, 以下同じ), 16.08%となり, 前期の-0.49%から急激に回復した。需要側では, GDPの半分以上を占める民間消費が前期の-1.5%から11.6%, 政府消費も前期の5.9%から9.0%, 総固定資本形成も前期の-3.3%から16.5%といずれも大幅に上昇した。また, 外需も引き続き改善されつつあり, 米ドルベースの貿易額は, 輸出が前期の21.21%から50.69%, 輸入は前期の13.03%から39.60%と急上昇し, 過去最高水準を維持している。一方で, 度重なる金融緩和による政策金利は, 1.75%を維持しているものの, M1の伸びに陰りが見られる。リングおよび株価も, 2018年以降は低下傾向である。ワクチン接種が遅れている上に, 直近の感染状況が悪化したため, 6月1日より全土でロックダウン(都市封鎖)に踏み切った。にもかかわらず, 感染者の拡大抑制には至らず, ムヒディン前首相は8月16日に辞任, 副首相のイスマイルサブリ氏が首相に就任した。(坂本 博)

フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

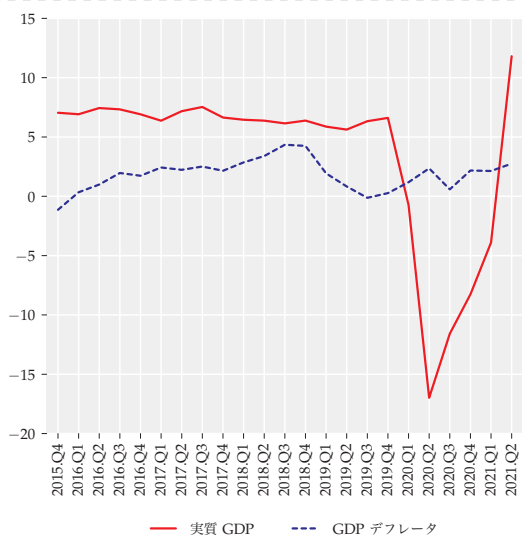


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

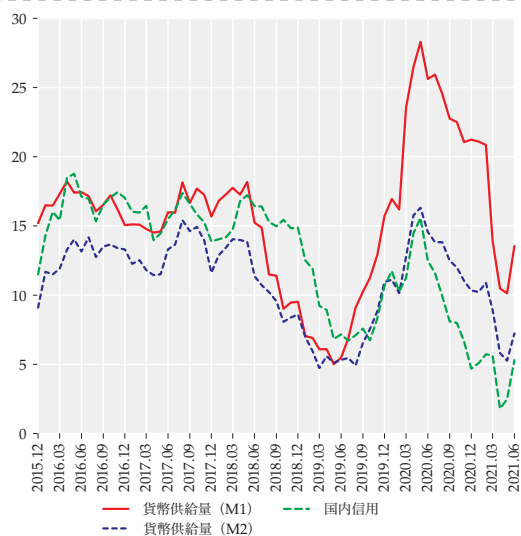


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

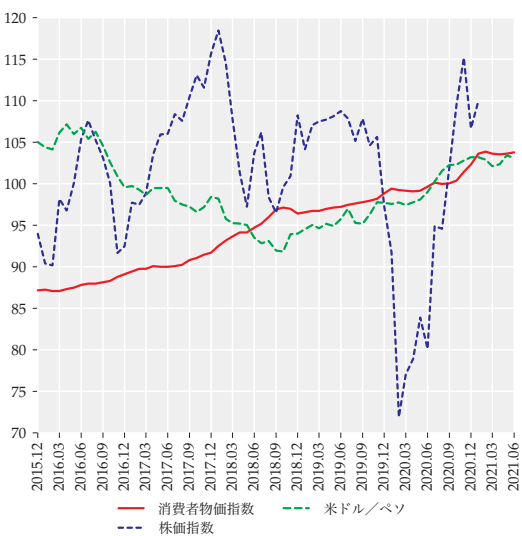
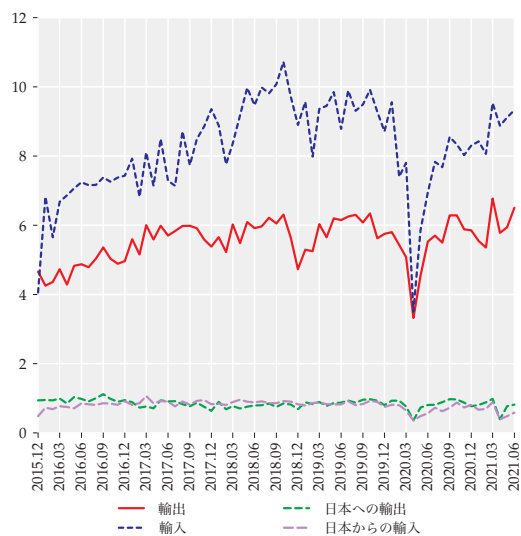


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



フィリピン経済の動向 (2021年第2四半期)

フィリピンの実質 GDP 伸び率は、2021 年第 1 四半期の -3.9 % から第 2 四半期の 11.8 % へと急上昇した。2020 年第 1 四半期以降マイナス成長が続いていたが、この第 2 四半期は、1988 年第 4 四半期以来の最高の伸び率となった（ただし、これは前年同期が -17.0 % であったことからの反動でもある）。2021 年第 2 四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、政府最終消費支出は -4.9 %（前期は 16.1 %）とマイナス成長であったが（前年同期は史上最大の緊急財政支援が展開されたため）、民間最終消費支出は 7.2 %（前期は -4.8 %）、総固定資本形成は 37.4 %（前期は -18.0 %）、財・サービスの輸出は 27.0 %（前期は -8.9 %）、同輸入は 37.8 %（前期は -7.0 %）と高い伸び率を示した。GDP の約 7 割を占める民間最終消費支出がプラスに転じたことの影響が大きいですが、民間消費は前期（第 1 四半期）と比べると -0.9 % で、実態としては依然低迷している。

(岸本千佳司)

シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

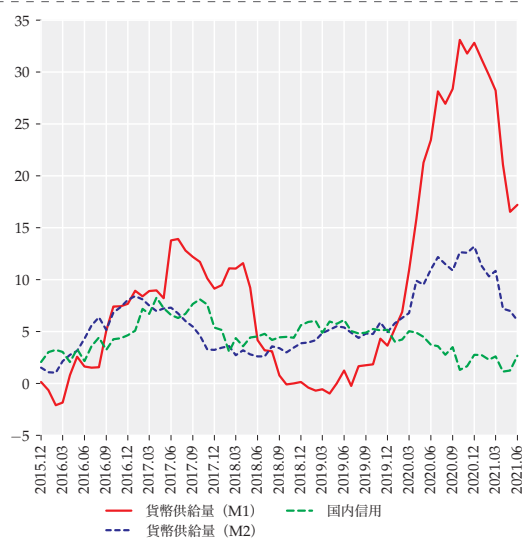


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

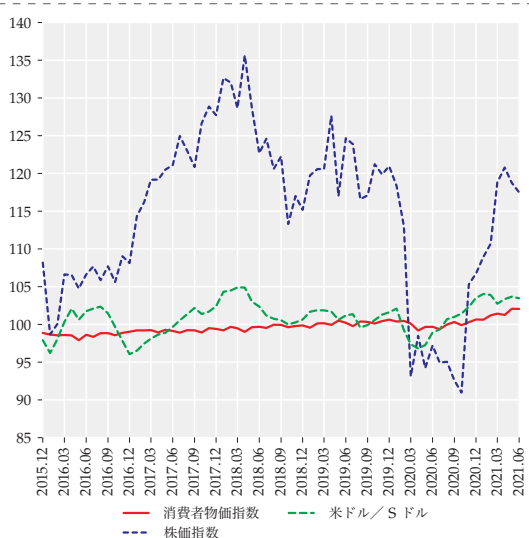
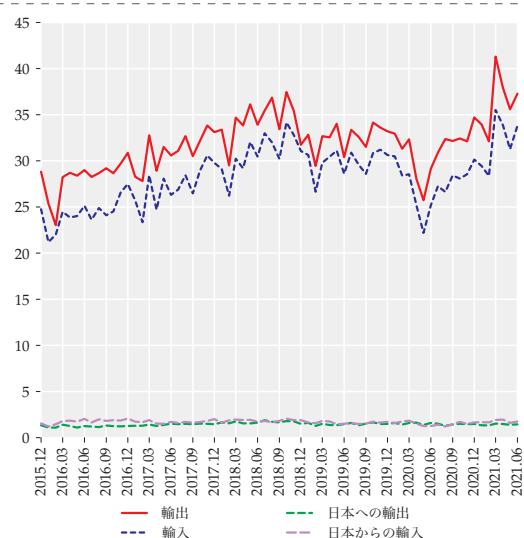


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



シンガポール経済の動向 (2021年第2四半期)

2021年の第2四半期のGDPは前年同期比で14.7%拡大し、前期の1.5%の成長より加速した。この高い伸び率は主に、2020年4月から6月初旬に実施された「サーキットブレーカー」対策やCOVID-19パンデミックの中での外需の急激な落ち込みによってGDPが13.3%減少した昨年同期の低成長による。生産側からみると、製造業は前年同期比で17.7%増加し、前期に記録された11.4%の成長を拡大した。卸売業は、前期の3.5%の成長からやや下がったものの、前年同期比で2.9%拡大した。卸売業の成長は、電子部品および通信機器・コンピューターの好調な卸売販売を背景に成長した機械・設備・消耗品部門の成長に牽引された。今年上半年期の経済の予想を上回る業績と、最新の国内外の経済動向を考慮して、貿易産業省(MTI)は2021年のGDP成長予測をこれまでの4.0~6.0%から6.0~7.0%に引き上げた。(アルバロ・ドミンゲス)

タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

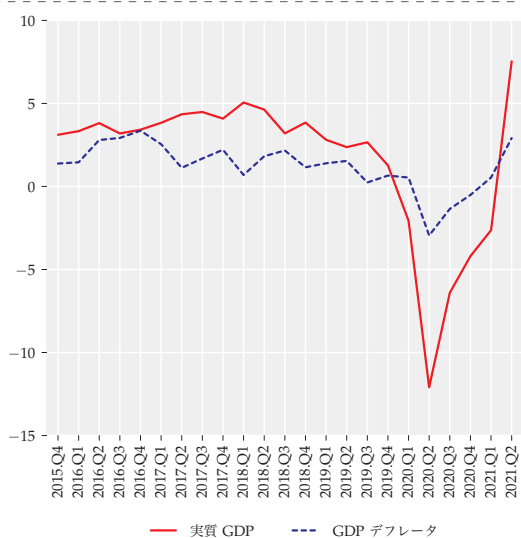


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

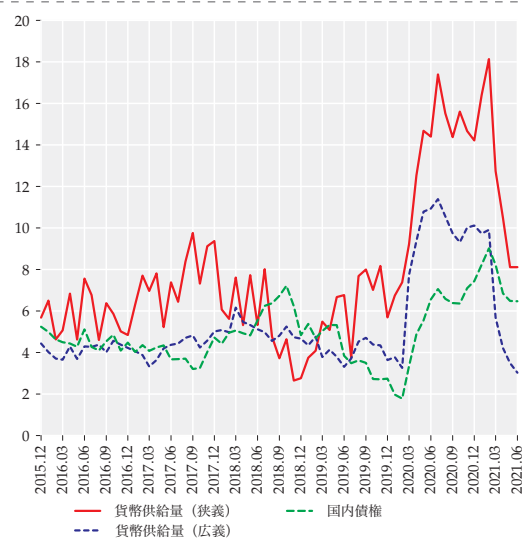


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

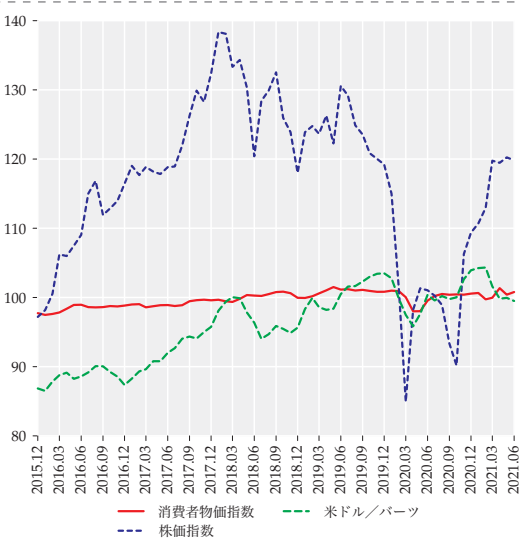
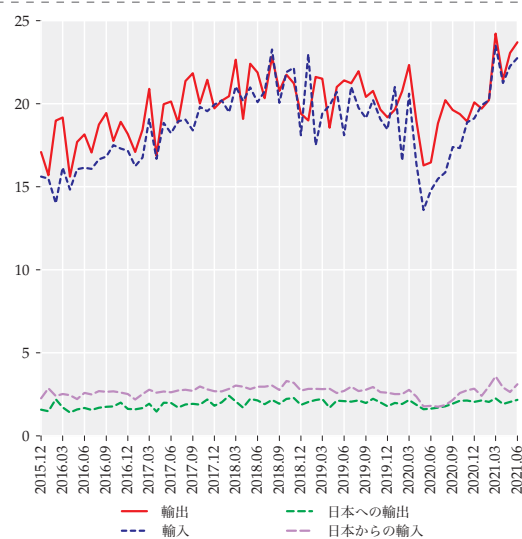


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



タイ経済の動向 (2021年第2四半期)

2021年第2四半期の実質 GDP 伸び率は前年同期比で7.54%となり、前期の-2.64%から大きく回復した。ただしこれは、2020年第2四半期の大幅な下落(-12.09%)からの反動である。生産側からみると、GDPの3割を占める工業部門が前期の-0.32%から14.21%へと、GDPの6割を占めるサービス部門が前期の-4.29%から5.02%へと、それぞれ改善した。支出側から見ると、GDPの3分の2を占める財輸出が前期の3.22%から30.66%へと大きく加速した。6月以降新型コロナウイルス感染症が急拡大し、8月には1日の新規感染者数が2万人を超えた。7月以降、主要都市ではロックダウンも実施されており、今後の消費の低迷が懸念される。国家経済社会開発委員会(NESDC)は、新型コロナウイルス感染症の拡大、家計や企業の財務状況の脆弱性、世界経済の変動などのリスクがあるとし、2021年の実質 GDP 成長率の予測値を、従前の1.5~2.5%から0.7~1.2%へと下方修正している。(田村一軌)

ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)

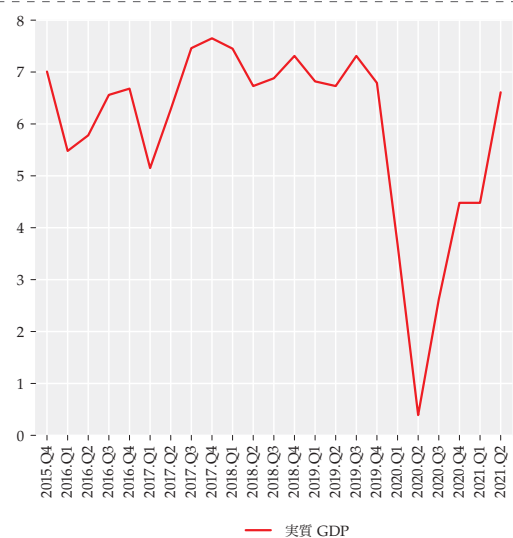


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

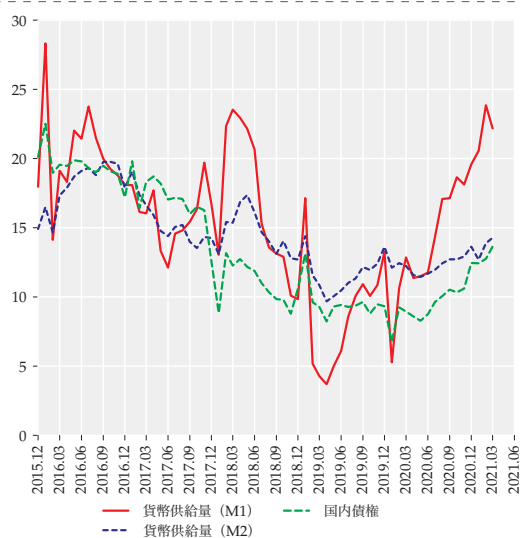


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

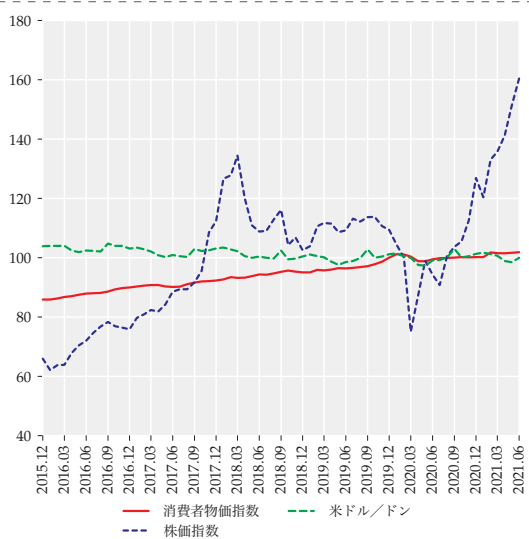
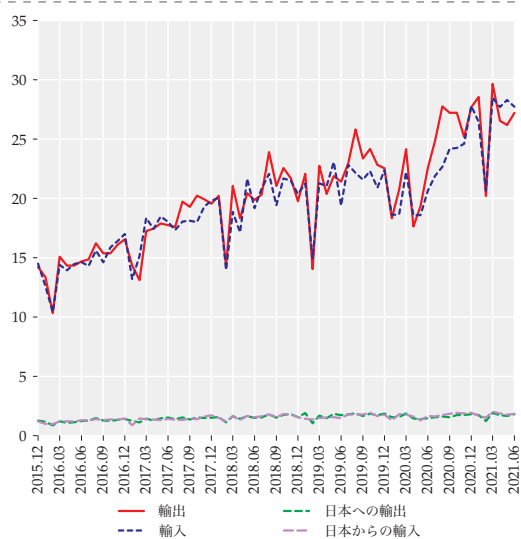


図4：輸出額と輸入額

(10億米ドル)



ベトナム経済の動向 (2021年第2四半期)

2021年第2四半期の実質 GDP 成長率は 6.61 % となった。前期の 4.65 % から成長が加速しているが、2020年第2四半期が 0.39 % の低成長であったことを考えれば、高い成長率とはいえない。部門別にみると、GDP の 3 分の 1 を占める鉱工業・建設業は 10.28 % (前期は 6.33 %) であった。特に製造業が 13.84 % と経済成長の原動力となった。農林水産業は 4.11 % (同 3.51 %)、GDP の 4 割を占めるサービス業は 4.30 % (同 3.62 %) であった。貿易も好調で、第 2 四半期の輸出入額はそれぞれ前年同期比で 34.22 % 増、44.76 % 増となった。ただし貿易収支は 16 四半期ぶりの赤字を記録した。株価指数は 2020 年 3 月以来上昇傾向を続けており、7 月の株価指数は 1,400 ポイントを超え過去最高値を更新した。これまで新型コロナウイルス感染症の感染者数を低く抑えることに成功していたが、6 月に入って感染者が急増している。ハノイ市やダナン市では厳格な社会隔離が行われており、今後の社会経済への影響が懸念される。(田村一軌)

インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

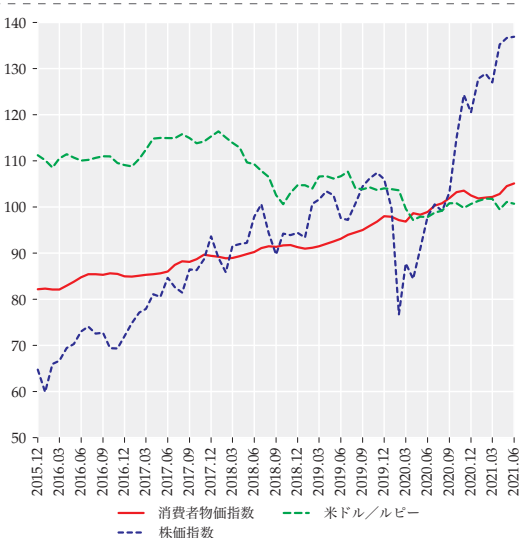
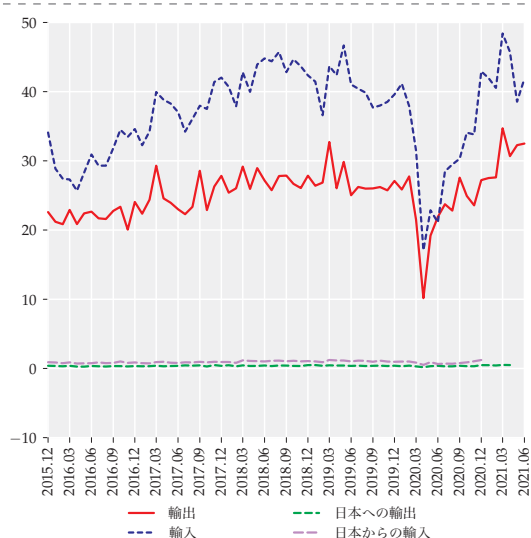


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インド経済の動向 (2021年第2四半期)

2021年第2四半期の成長率は20.1%であった。この急激な成長は、前年同期の実質GDPの低さに起因する。具体的には、新型コロナウイルス対策としてパンデミックを封じ込めるために2020年3月から行われた長い期間のロックダウンの影響からの回復である。ただし、今期の実質GDPはまだロックダウン以前の水準を下回っている。第2四半期は全てのセクターにおいて成長率がプラスであった。セクター別の成長率を見ると、建設業と製造業の成長率が高く、それぞれ68.3%と49.6%であった。一方で、金融・不動産・専門サービス業と農業・林業・漁業の成長率は低く、それぞれ3.7%と4.5%であった。政府によると、第2四半期の成長率は、V字型に回復するという昨年の政府の予想を裏付けるものであり、国のマクロ経済のファンダメンタルズは「とても強力」であるとのことである。しかし、実質GDPはまだ2019年第2四半期の水準まで回復していないため、V字型の回復とは言い切れないとの意見もある。(プラモッド・クマール・スール)

図に関するデータの出所および注

日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *National Data (Quarterly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=B01>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *National Data (Monthly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=A01>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department (<https://www.censtatd.gov.hk/en/>)
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/ct.asp?xItem=37408&CtNode=5347&mp=5>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://statdb.dgbas.gov.tw/pxweb/dialog/statfile1L.asp>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

インドネシア：

- 図 1, 図 4 Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id/subject/3/inflasi.html>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia (<https://www.bi.go.id/en/statistik/informasi-kurs>)

マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, *Rates & Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/rates-statistics>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)

フィリピン：

- 図1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<https://psa.gov.ph/national-accounts/base-2018/data-series>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council (https://www.nesdc.go.th/nesdb_en/main.php?filename=national_account)
- 図2 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatMFSSurvey.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices (http://www.price.moc.go.th/en/home_en)；株価指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/CapitalMarket/Pages/StatCapitalMarket.aspx>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/ExchangeRate/Pages/StatExchangeRate.aspx>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatInternationalTrade.aspx>)

ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 2017年3月までの消費者物価指数および為替レート：International Monetary Fund, *International Financial Statistics, September 2017 CD-ROM*；それ以降の消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 2017年3月まで：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics, September 2017 CD-ROM*；それ以降：Vietnam, General Statistics Office, Thematic Data, *Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

インド：

- 図1, 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, Database on India's Economy, Statistics tab (<https://dbie.rbi.org.in/DBIE/dbie.rbi?site=statistics>)
- 図1 2021年第2四半期：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- 図3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics* (<https://data.imf.org/dot>)